

区政会議でいただいたご意見への対応方針

番号	年月	区政会議委員意見	対応方針	分類
令和6年度第1回区政会議（令和6年8月6日開催）				
1	R6.8	【外国にルーツをもつ園児・児童・生徒】 ・学校関係者に聞いたところ、時間外のトラブルへの対応に苦慮しているとのこと。翻訳ツールも方言までは対応できず、意思疎通が難しい。（岡崎委員） ・母と子の共励会の会員にも外国籍の方がいる。年齢に関係なく通訳のボランティアができれば、役に立つと思う。（平田委員）	・当区では、外国にルーツをもつ児童生徒に対する市教育委員会事務局の取組に加え、令和5年12月より区独自で外国語サポーターを派遣することとし、校園等の教育環境及び区役所における相談環境の向上に努めています。 ・区役所において、引き続き学び・生活サポーター及び外国語サポーターを募集してまいります。また、お知り合いの方も含め広くご応募いただけるような環境調整に努めてまいります。	①
2	R6.8	【発達が気になる子ども】 ・発達が気になる子どもの数に比べて、ケアする人が少ないと感じられる。（吉田委員）	区役所では乳幼児健康診査や子育て相談の機会を通じて、発達障がいの可能性のある児童を早期に発見し、家庭児童相談員など専門知識を持つ職員により継続的な支援を行っています。発達障がいについては、社会全体によるケアが必要と考えることから、発達障がいに対する理解に基づいた支援ができるよう機会をとらえて周知・啓発に取組んでいます。	⑤
3	R6.8	【学校】 ・登下校時に見守りをしてくれる方からの子どもの情報に学校は助かっていると聞く。細かいところまで見てくれており、分かりやすい情報なので取り入れてもらいたい。（吉田委員）	学校と地域が連携し、地域の方々が登下校時の見守りをされています。見守りをされている方からの情報提供は、学校にとって大変有益であると聞いており、今後とも学校と地域の連携が円滑に行われるよう支援してまいります。	⑤
4	R6.8	【学校】 ・学校へのサポーター派遣は人数も少なく困っていると聞く。OB・OGの教員が学校に戻る仕組みがあれば望ましい。（山田委員）	スクールサポートスタッフ、特別支援サポーター等、子どもたちの学校生活をサポートする各種サポーターの募集につきましては、各校にてOB・OG等幅広く声をかける等の工夫を重ねております。また、区役所においても採用等を行う教育委員会事務局と連携を図るなど、対応を進めます。	⑤
5	R6.8	【学校】 児童数が増え校庭が狭くなり、1クラス当たりの児童数も増えており、指導が難しくなっていると耳にする。特定の学校に児童が偏ることによる問題の評価と必要な対処、また不安が減るよう正しい情報が伝わるような工夫をお願いします。（宮寄委員）	天王寺区では、区内全小学校の児童数が増加しており、1クラス当たりの児童数の増加や、一部の小学校においては、増築の影響で校庭が狭くなっているのが現状です。今後も教育委員会事務局と連携を図りながら、今後の学級数や児童数の推移などを注視し、適正配置の取組について検討を進めます。	⑤
6	R6.8	【不登校】 ・不登校の家庭への教師による訪問は難しいので、今回の新たな専門員の配置は望ましい。（山田委員）	不登校となり自宅にいる児童生徒に対し、民間の居場所を含め自宅から外出して外部とのつながりを作ることを目的に、令和6年度から新たに不登校家庭訪問支援員を配置しました。	①
7	R6.8	【キャリア教育】 ・職業講話は良い取組。キャリア学習も子どもは楽しみにしており、取り組んでもらいたい。（平嶋委員）	職業講話とともに、大阪市総合教育センターと連携し、小中学校のキャリア教育を推進します。	①
8	R6.8	【こどもの居場所】 ・こどもの居場所へのボランティアには、近隣の中学生や高校生に来てもらうことができれば良いと思う。（大野委員）	現在、3か所のこどもの居場所で、高校生がボランティアとして参加しています。各居場所の意向を尊重しつつ、こういった取り組みを他の居場所にも周知し、学生のボランティア参加が広がるようにしてまいります。	①
9	R6.8	【保育園】 子どもの声に対する苦情から、保育園や子どもたちが萎縮してしまっている様子が見受けられる。区として保育園へのサポートをしていただきたい。（宮寄委員）	保育園が公共性の高い施設であることを周知するとともに、保育園の運営にあたっては、「地域における子育て支援」の観点からも地域活動と連携するなど近隣住民との交流に努めるよう区主催の子育て支援施設連絡会などあらゆる機会を通じて協力を求めています。	⑤
10	R6.8	【独居高齢者等見守りサポーター事業】 ・「独居高齢者等見守りサポーター事業」について、同意率を上げるためには事業内容の周知が課題。（東川委員） ・家族が同居していても、昼間は高齢者が一人になることがある。介護サービスの利用を勧めても、積極的に動かない方をどこにどのように繋げていけば良いか難しさを感じている。（川畑委員） ・見守りボランティアは、今どういう状況なのか。（南委員）	・区の広報紙をはじめ、区社協、老人福祉センター、各関係機関とも連携し、様々な媒体での事業周知とあわせて、引き続き地域と連携し、高齢者食事サービス、ふれあい喫茶、百歳体操等の場においても情報発信、周知に努めます。 ・地域包括支援センターや区役所、またより身近な窓口として、令和5年度から一部地域の会館に、高齢者等への福祉情報の提供・相談等を行う「地域福祉コーディネーター」が定期的に駐在していますので、ぜひご相談ください。引き続き、高齢者や障がい者等の孤立を防ぐ取組を進めていきます。 ・見守りボランティアの現状については、各地域のボランティアが月1回程度自宅に訪問する等の活動を行っています。利用者からは、「訪問が楽しみ」、「安心感がある」等のご意見をいただいています。	①
11	R6.8	【健康づくり】 ・健康管理のため高齢者が自ら料理をしたい場合等に、食生活改善推進員協議会のイベントは有効だと考えているので、もっと周知をお願いしたい。（東川委員）	天王寺区食生活改善推進員協議会と連携して開催している料理教室・食育イベント等について、区広報紙や区ホームページへの掲載に加え、SNSも積極的に活用し情報発信、周知に努めます。	①

12	R6.8	【健康づくり】 天王寺区食生活改善推進員協議会において、保健福祉センター分館の調理室でお各種の調理実習をするが、設備が老朽化している。点検・改修を早急をお願いします。(堀井委員)	区民のみなさまが、安心して調理実習に参加していただけるように、関係部署と調整しながら、随時器具の交換を実施していきます。	①
13	R6.8	【健康づくり】 高齢者は、家の外に一步でも出て、人との対話が必要。百歳体操など、集まって体を動かしたり、おしゃべりをする場を増やしていくのは良い。(江畑委員)	高齢者のフレイル予防は非常に重要であり、今後も地域担当保健師を中心に百歳体操など高齢者の健康づくりに共に取り組みます。地域で百歳体操の新規立ち上げ(5名以上週1回以上)のお話がありましたらぜひお声かけください。	⑤
14	R6.8	【防災】 ・町会単位だけではなく、PTAや老人会での出前講座や防災動画の視聴は有効ではないか。(佐野委員) ・防災動画を作成するのであれば、見たいと思うようなおもしろみ、適切な時間、継続した周知といった配慮が必要。(高橋委員、竹田委員)	機会を捉えて防災の啓発に努めているところですが、今後は、出前講座とともに、いつでも・どこでも・どなたでも視聴できる動画やホームページによる啓発にも、より注力して取り組みます。動画等については、より多くの方に興味を持ってご覧いただけるよう内容を工夫するとともに、より広く浸透するよう継続した周知を図ります。 【参考】防災出前講座 YouTube版 https://www.city.osaka.lg.jp/tennoji/page/0000522259.html	①
15	R6.8	【防災】 ・防災に特化した全戸配布の媒体を作成してはどうか。非常準備品や家具の転倒対策について値段や購入できる場所等、具体的なことが記載されていることが望ましい。(竹田委員) ・能登半島地震におけるトイレの問題など、具体的に危機感を持ってもらえるような広報をすればトイレ用凝固剤の備蓄の啓発に有効ではないか。(石野委員) ・学校での災害体験キャンプ等、小中学生が外で学んだことを家に持ち帰ってもらうのは良いのではないか。(高橋委員)	・防災に特化した紙媒体については、現在実施している全戸配布の広報紙の特集増ページを活用すること等も含めて検討します。 ・トイレ用凝固剤の備蓄など、各ご家庭での備えの習慣化は防災力の向上に必須です。被災地のリアルな状況や被災者の声を通じて、防災を自分事として捉え、また、具体的な備えの行動に移していただけるような広報に努めます。 ・区役所では、防災について気軽に、楽しく学べる「学ボーサイ」を実施しています。お子さんの学びが、ご家庭での備え(行動)に繋がるよう内容を工夫してまいります。	①
16	R6.8	【防災】 ・マンションの高さにより対応すべき問題が違うことがある。マンション防災を細分化して考えるのも良いのではないか。(佐藤委員) ・高層マンションはエレベーターが止まると、特に高齢者は身動きが取れない。そういった方の情報共有は大切になる。(榊井委員) ・防災に関して町会単位で取り組んでいるが、町会未加入者に対する取り扱いが難しい。(佐藤委員、長谷川委員)	天王寺区では、世帯の85%がマンションなどの共同住宅に居住しているという地域特性を踏まえて、「高層マンション防災ハンドブック」を作成・活用し、マンション防災の取組を進めています。建物の高さや構造・設備のほか入居者の特性等状況により対応すべき問題が異なる場合もあることから、より現実的に即した対応が可能となるよう、マンション防災に関する出前講座の際には依頼者と相談しながら内容等を工夫してまいります。 また、町会加入促進に取組みながら、平時から地域との交流や顔見知りになることの重要性等を引き続き発信してまいります。	①
17	R6.8	【防災】 ・地震などの災害時に、医師会・歯科医師会・薬剤師会相互の連携は必要と考えているので、行政から三師会へ働きかけをお願いしたい。また、移動が困難な高齢者等のため、仮設の診療所の設置場所等の検討もお願いしたい。(川畑委員)	災害時に備え区内医療機関等との協力体制を整備しておりますが、引き続きさらなる充実に向け、区役所の防災担当と保健福祉担当が連携し、医師会・歯科医師会・薬剤師会の三師会とご相談しながら、災害時の保健医療体制の整備について検討します。	⑤
18	R6.8	【地域社会づくり】 ・独居高齢者等の見守りについて、町会が大事な要因であると考えているが、加入者がなかなか増えず少ないことが課題である。(川畑委員) ・町会役員の高齢化は問題と感じている。(佐野委員) ・町会加入者を増やすには町会に入るメリットをもっとアピールすべき。(高橋委員) ・町会への加入未加入に関わらず、つながりを広げる工夫が必要。子どもを介してつながりが広がるような、お祭り・イベントは有効と考える。(竹田委員)	独居高齢者等の見守りにおいて町会の役割は大変重要ですが、町会への加入者が増えず、町会役員の高齢化が進む中で、一部の地域では活動の維持が課題となっています。地域の情報を得られたり、困ったときに助け合えるつながりが生まれたりするといった、町会加入の利点について、さらなる広報・周知に取組みます。また、町会への加入の有無に関わらず、子どもたちを通じて地域全体のつながりが深まるような、お祭りやイベント等も積極的に紹介し、地域の活性化に努めます。	①
19	R6.8	【万博・区制100周年】 ・広報紙に掲載されている「天王寺と博覧会」の講演とパネル展は、大変興味深く、良いイベントであると思う。天王寺ミオはアクセスが良いので多くの方に来ていただきたい。広報紙以外にも、チラシの配布など多くの方に広報してほしい。(三輪委員) ・例えば食材のような多くの方が親しみやすいテーマでイベントをするのも良いのでは。(安田委員)	・「天王寺と博覧会」については、広報紙以外では、区HP、チラシ配布、SNS(Facebook)での周知を考えております。また、天王寺ミオでも施設内や駅コンコースのデジタルサイネージやHPで広報する予定です。 ・今後も多くの方に親しみを持っていただけるようなテーマの行事で万博・区制100周年を盛り上げていきます。	②
20	R6.8	【万博・区制100周年】 ・2025年に大阪・関西万博が開催されることは多くの方がご存じだが、区制100周年については、あまり知られていないように思う。しっかりと広報をしてほしい。(森谷委員)	区制100周年はこれまでの区のあゆみや歴史を振り返り、区民を始め多くの皆さまに区の魅力を再認識していただける貴重な機会ですので、事業の情報や、取組の結果等を、広報紙や区HP、SNSで発信してまいります。	①
21	R6.8	【魅力発信・にぎわいづくり】 ・もっと子どもがワクワクするような企画を増やしてほしい。情報発信についても、子どもに分かりやすく伝えてほしい。(岡内委員)	小学4年生から高校生を対象としたジュニアクラブ等、青少年育成の取組について、子どもがより興味関心を持てる内容を企画してまいります。また、子どもにも伝わりやすい広報となるよう努めます。	①

22	R6.8	【情報発信】 ・子どもが私学に通っていると情報があまり入ってこない。区で実施している事業などの周知については、広報紙だけでなく、様々な手法で広報してほしい。(大野委員)	区で実施している事業について、全戸配布の広報紙のほか区内76か所にある広報板への掲示、ホームページや各種SNSを活用しての広報を行っておりますが、引き続き事業の内容に応じたより効果的な情報発信に努めます。	②
23	R6.8	【情報発信】 ・町会に参加できていないマンション住民にとって、祭り等のイベントは生活関係者以外で地域と繋がれる良い機会。広報紙での夏祭り情報のまとめは助けになった。広報紙記事の編集については、各課からも情報を入れられるようにするのはどうか。7月号の「夏のイベント情報・夏祭り情報」のように、紙面に点在してしまうのはもったいない。また、夏だけでなく秋にも各地域で文化伝承の取組があるので、地活協(各町会)の紹介と併せて、秋祭りのご紹介をお願いします。(宮崎委員)	例年7月号において「天王寺の夏祭り」を特集しております。今後も地域でのつながりづくりが促進されるような記事の掲載に努めます。 テーマの近い記事については近接させる等作成において留意しております。また、市政面と区政面は編集の都合上別のページになるため、必要に応じて別ページに誘導する等の工夫を行ってまいります。広報紙の特集記事等については、ご意見を参考に検討いたします。	②
24	R6.8	【情報発信】 ・広報紙5月号の青少年指導員の特集について、OBとしてうれしい反面、メンバーの減少が悲しい。広報紙の表紙について、各団体の活動を紹介する中で、その笑顔の写真をトップページにしようご提案します。(栗谷委員)	区広報紙の表紙は、2面の特集記事と連動しています。特集記事において地域で活動する方々等を取り上げる際は、住民の地域活動への参加・参画が促されるような広報を、広報紙の表紙を含めご意見を参考に作成してまいります。	②
25	R6.8	【情報発信】 ・区のXの投稿数が少なく、フォロワー数が少ない。夏祭り等区内の魅力的なコンテンツの情報を定期的に発信すべき。またリポスト機能を活用すべき。(立川委員)	X等のSNSによる情報発信について、万博や区制100周年関連イベントをはじめとした各種行事等について積極的な発信に努めます。またリポスト機能の活用について職員に啓発してまいります。	①
26	R6.8	【区政会議】 ・区政会議の開催案内及び会議資料について、資料の読み込みや参加への調整の都合があるので、もう少し早めにしてほしい。(岡内委員)	開催案内及び会議資料の送付時期については、ご意見を参考に資料作成や日程調整等を考慮しながら、適切な時期となるよう努めます。	①
27	R6.8	【区政会議】 ・事業報告について、定員〇人のところ〇人の応募があった、等より具体的な数字が知りたい。(岡内委員)	区政会議の資料については、各事業について実施回数等を記載しているところですが、参加者数等を追記するなど、より詳しい事業報告となるよう努めます。	①

※分類

- ①当年度(6年度)において対応 ②7年度運営方針に反映または7年度に対応予定
③7年度では対応できないが、今後引き続き検討 ④対応困難または対応不可
⑤その他